

メゾ・フォーカス シリーズ 取扱説明書

メゾ・フォーカス

JP

メゾ・フォーカス 24

JP



ご使用前に必ず
お読みください

目次

1.はじめに	4
製品説明	4
AC アダプタと電源コード	4
2.安全上のご注意	5
3.ご注意ください	7
4.商品について	8
同梱物.....	8
ご使用前の準備	8
電源の接続.....	10
各部の名前.....	11
モニターの位置調整	12
XY テーブル位置の調整.....	12
5.各部の詳細説明	14
本体スイッチ部 (XY テーブルの後部)	14
電源スイッチ ON/OFF	14
LED ライト切替スイッチ	15
コントロールパネル	16
モード切替ボタン (ボタンを回す)	16
メニュー表示の切替 (表示の ON/OFF) (ボタンを長押し)	17
ズームボタン	17
ワンプッシュオートフォーカス (AF) (ボタンを軽く押す)	18
位置表示 (ボタンを長押し)	18
明るさ/コントラストボタン (ボタンを回す)	18
ライン/マスク表示 (ボタンを押す)	18
6.メニュー (設定項目) の詳細	19
メニュー表示	19
設定の変更.....	20

メニュー設定: メインメニュー.....	21
メニュー設定: 拡張設定.....	22
メニュー設定: モードの設定	23
メニュー設定: ユーザーカラーの設定	24
7.故障かなと思ったら.....	25
8.製品仕様.....	26
9.お客様相談室.....	28
10. 付録.....	29
据置型拡大読書器の使い方のポイント (疲れのない読書のために).....	30

1. はじめに

この度は、メゾ・フォーカス シリーズ(以下 本機)をご購入頂き、ありがとうございました。

この商品は REINECKER 社 (ドイツ)の拡大読書器です。

ご使用前に必ず取扱説明書を一読し、正しく安全にご使用ください。

ご不明な点がございましたら、「9. お客様相談室」に記載しております、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店までお問い合わせください。

製品説明

本機は、文字や写真などを拡大する拡大読書器です。

プライベートでも仕事でもお使いいただけます。文字や写真などを内蔵カメラで認識し、モニターに表示します。

- 持ち運び可能で、高画質でクリアな画像を表示
- 20 インチハイビジョン(HD)液晶モニター又は、24インチフルハイビジョン(フル HD)液晶モニターを使用
- 内蔵カメラで文字や写真を、高画質、最小のノイズ、反射を低減させて拡大
- モニターの位置調整ができるので、快適な位置で読書が可能

AC アダプタと電源コード

必ず付属の専用 AC アダプタと電源コードをご使用ください。AC アダプタや電源コードを損傷または紛失された場合は、「9. お客様相談室」に記載しております、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

注: 付属の専用 AC アダプタや電源ケーブル以外のものをご使用された場合、商品が故障する可能性があります。

2. 安全上のご注意

安全なご使用のために

本機を誤った使用方法でご使用頂きますと、火災や感電といった事故の原因となることがあり危険です。以下の注意事項を必ずお守り下さい。

- ◎ 「安全上のご注意」の内容を必ずお守り下さい。
- ◎ 万一、異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、その他のケーブルを本機から抜いた後にお求め頂きました販売店又は弊社までご連絡下さい。
- ◎ 故障が起きたら、修理が完了するまでは再度本機を使用しないで下さい。

安全上のご注意

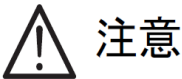
安全にお使いいただくために…
必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」は本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：本機を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：分解禁止 意味：本機を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：電源プラグをコンセントから抜く 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。



警告



本機の分解や改造を行わない。火災や感電等の事故の原因となります。点検や修理は必ずお求めいただきました販売店または弊社に依頼して下さい。



本機を爆発物、引火物の周辺で使用しない。火災、爆発等の原因となります。



本機の内部に水や金属類（ヘアピン、クリップ等）を挿入しない。感電等の事故の原因となります。



万一水や金属類が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。

それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。



本機の電源は日本国内の商用電源（AC100V 50/60Hz）のみで使用する。海外での使用やこれ以外の電源での使用は故障、火災や感電等の事故の原因となります。



電源ケーブル・接続ケーブルは机や棚、本機や他の重量物の下に挟まらないようにする。また、ストーブ等の熱器具の付近に近づけない。ケーブルが傷つきますと火災や感電等の事故の原因となります。



本機より煙が出ている場合や異常な音・臭いがする場合、本機を転倒・落下した場合やキャビネット等が破損したような場合にはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。



異常状態や故障状態のまま使用しますと、火災や感電等の事故の原因となります。



雷が鳴りはじめたら、本機、電源プラグ、ケーブル等に触れない。感電の原因となります。



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。



注意



本機は、水平で本機の底面積とテーブルの移動範囲よりも十分に広い安定した机の上等で使用する。

傾斜のある場所や不安定な場所、重量物が積載できない場所で使用しますと、転倒等による事故の原因となる場合があります。



本機は縦置き設置です。本機の機体印刷文字が正立の状態で使用する。縦置き以外での使用は転倒等による事故の原因となる場合があります。



本機を気温・湿度の非常に高い場所やほこり・粉塵の多い場所で使用しない。火傷等の事故の原因となる場合があります。ご使用に適した温度は0～40℃、湿度は30～80%です。



本機を直射日光の当たる場所やストーブ等の熱器具の付近に置かない。本機内部の温度が上昇し、火傷や火災等の事故の原因となる場合があります。



濡れた手で電源ケーブル・接続ケーブルの着脱を行わない。感電等の事故の原因となります。



ケーブルの着脱にはケーブルのプラグ部を持って確実に行う。ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に曲げたりしますとケーブルが傷つき、火災や感電等の事故の原因となる場合があります。



本機の電源の投入は各ケーブルの接続が全て終了してから行う。また、ケーブルの着脱は電源が投入されていないことを確認してから行う。感電等の事故の原因となる場合があります。



電源コンセントの差し込み口付近はほこりがたまらないよう、定期的に清掃する。火災等の事故の原因となる場合があります。



本機が出力する照明や表示光に目を近づけて長い時間覗きこまない。視力の低下などの事故の原因となる場合があります。



清掃等のお手入れの際には、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行う。電源を投入したままや、電源ケーブルを接続したままの状態でお手入れをすると、感電等の事故の原因となる場合があります。



購入後の定期的な点検や内部の清掃は、1年程度を目安に、購入した販売店または弊社に相談する。

本機の内部にほこりがたまったまま使用しますと、火災や感電の原因となる場合があります。



本機を足場や踏み台にしたり、上に乗ったりしない。故障や転倒による事故の原因となる場合があります。特に小さなお子様のいる環境ではご注意ください。



テーブル移動用のレールには手を触れない。挟まれて事故の原因となる場合があります。



本機にモニターテレビを積載して使用する場合には、モニターテレビが転倒しないよう、付属の保持バンドを必ず併用する。転倒による事故の原因となる場合があります。



本機を移動する場合には積載されたモニターテレビを本機から下ろし、電源ケーブル・接続ケーブルを抜いてから移動する。モニターテレビが積載されたままやケーブルが接続されたまま移動すると、感電や積載物の落下による事故の原因となる場合があります。

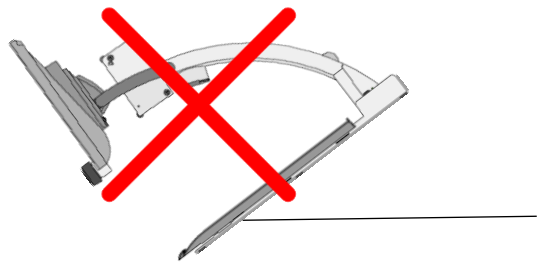


本機を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。

3. ご注意ください

以下の安全上のご注意に従って、ご使用ください。

1. 濡れた手で AC アダプタに触らないでください。
2. 付属の専用 AC アダプタと電源コードをご使用ください。他の物をご使用された場合、製品が故障する可能性があります。
3. 直射日光が当たる場所や、極端に温度が低い、または高い環境で、ご使用しないでください。画質が劣化する可能性があります。
4. +5°C 以下、または、+40°C 以上の環境で、ご使用しないでください。
5. 本体が濡れないようにご注意ください。
6. モニターに寄りかかったり、鋭利な物でモニターに触ったり、本体に重い物をのせたりしないでください。製品が損傷する恐れがあります。
7. テーブルを前に引き出した状態で、
テーブルの前方に上から力を加えないでください。本体が前に倒れる恐れがありますので、ご注意ください
8. 製品を自分で修理したり、分解したりしないでください。された場合は、保証の対象外となります。技術サポートが必要な場合は、弊社お客様相談室か、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。



※液晶画面に関するご注意:

液晶の取扱いに関して、次のことに注意してください。液晶画面はガラスでできています。液晶部分に物を当てたり、強く押さえたり、本体を落としたりするなどの外部からの要因によって、割れることがあります。取扱いには十分注意してください。なお、液晶割れや画面に傷をつけた場合は、保証期間中でも、有償修理となります。もしも、液晶が割れた場合は、液晶画面や液晶画面から漏れた液体には絶対に触らないでください。

4. 商品について

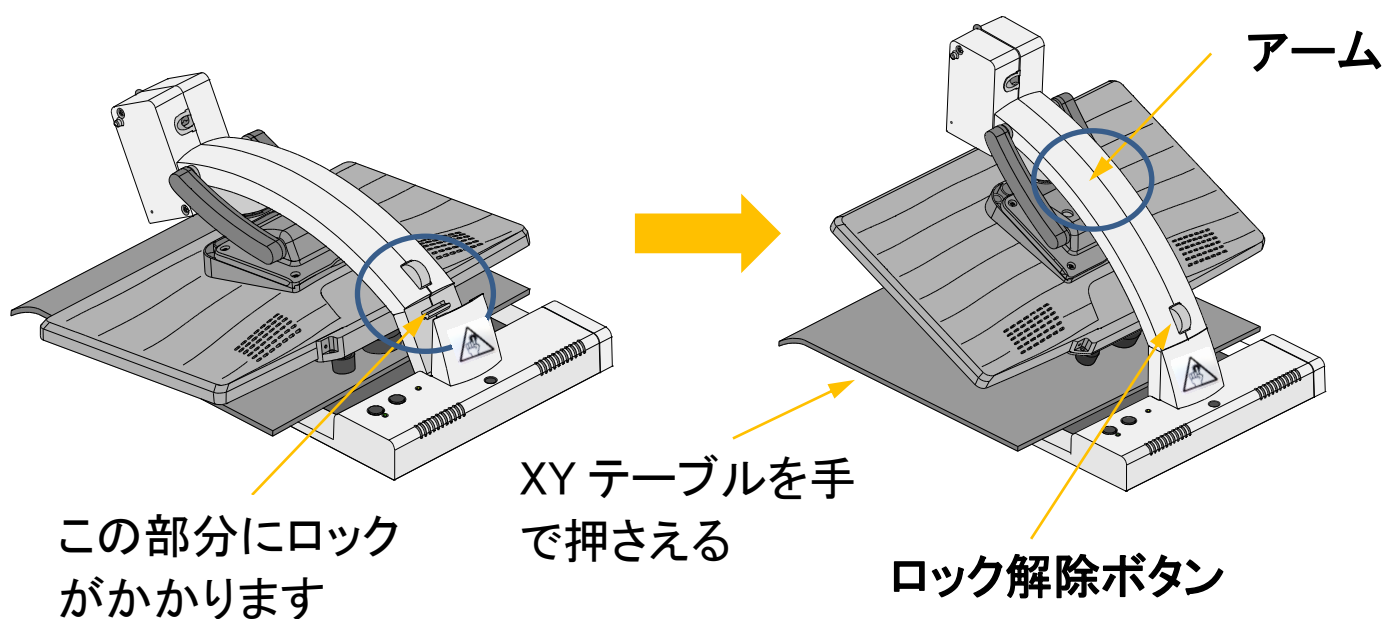
同梱物

- 本体
- AC アダプタ 12V DC/5A、電源コード
- ゴムシート(メゾ・フォーカス24のみ、モニター部折りたたみ時に使用)
- 取扱説明書
- 製品保証書、ユーザー登録用紙

ご使用前の準備

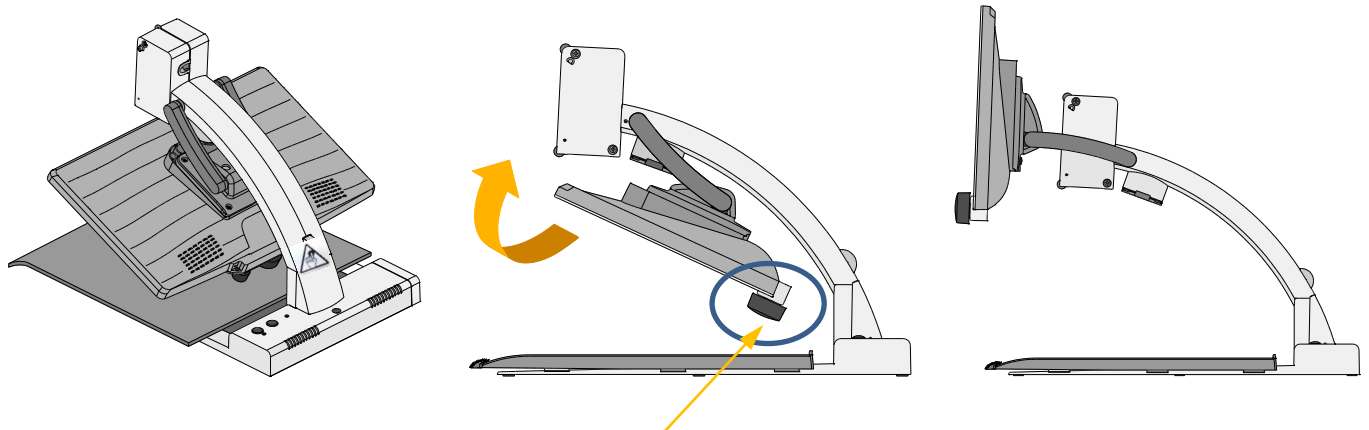
本機はモニター部が折りたたまれた状態で輸送されます。以下のようにモニターを起こしてご使用ください。

- 1) XY テーブル部を手で押さえて、アームの ○ 部をカチッという音が聞こえるまで(ロックがかかるまで)、上に引き上げてください。



ロックをかけるとき、指を挟まないようにご注意ください。

- 2) モニターを XY テーブルに平行に保ちながら前方に引き出します。次に下図のように上方に引き出します。(XY テーブルに当たらないように注意してください)



XY テーブルに当たらないように注意

※折りたたむ時は、まず、モニターをテーブルに平行になるまで押し下げます。次に、モニターを平行に保ちながら後ろに押し、アームに沿わずようにモニターに角度をつけます。アームを保持しながら、ロック解除ボタンを押して、ゆっくりと折りたたんでください。

(2) ~ 1)を参照し、「ご使用前の準備」方法とは逆の順番で行ってください。)

※メゾ・フォーカス24の場合は、XYテーブルに接触しやすい為、付属のゴムシートをXYテーブルの上に敷いてから折りたたむとキズ防止になります。

※ロックの解除は、必ずアームを支えながら行ってください。

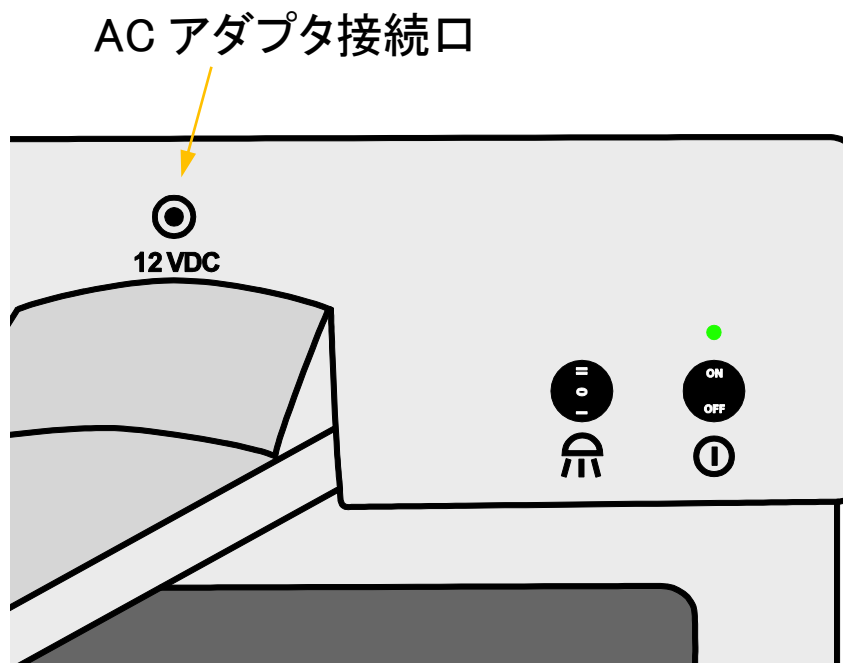
アームを支えないでロックの解除を行うと、操作部分やモニターがXYテーブルに衝突し、破損する可能性があります。

電源の接続

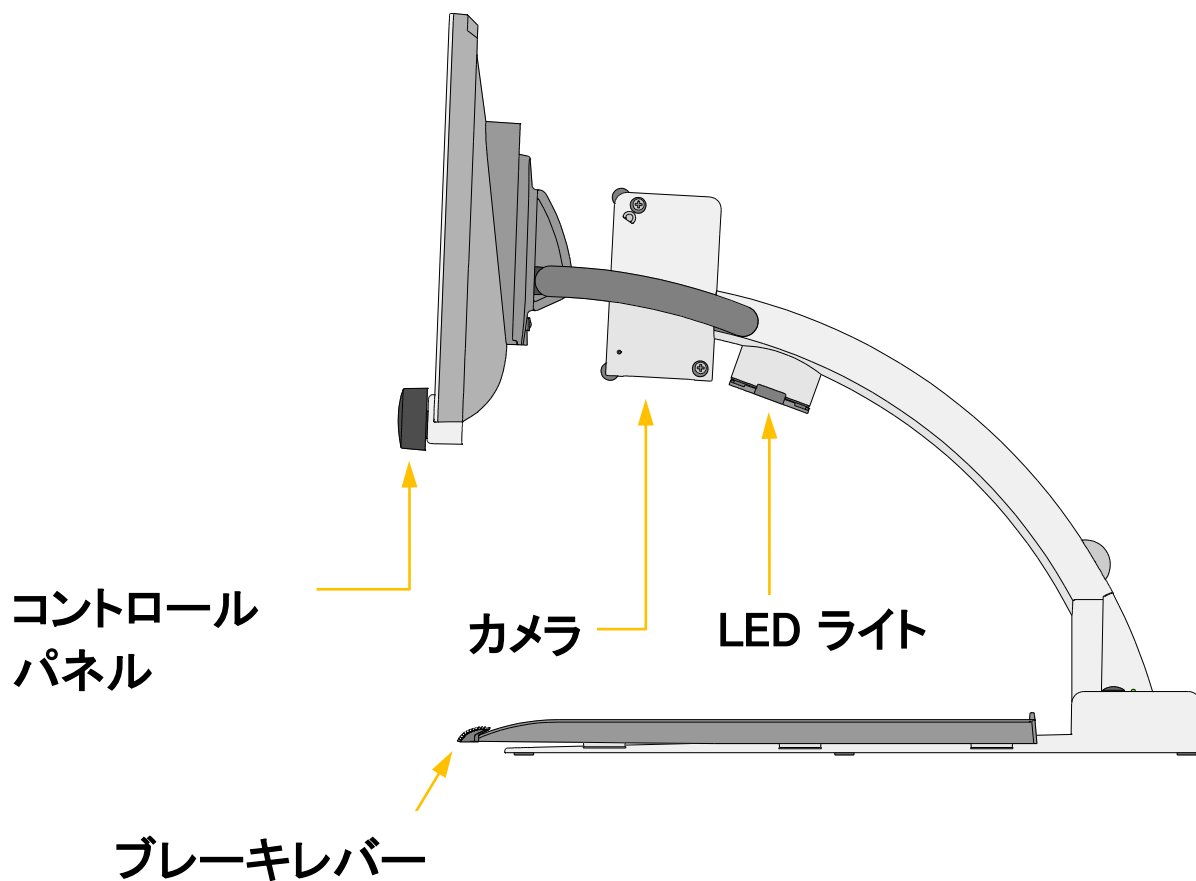
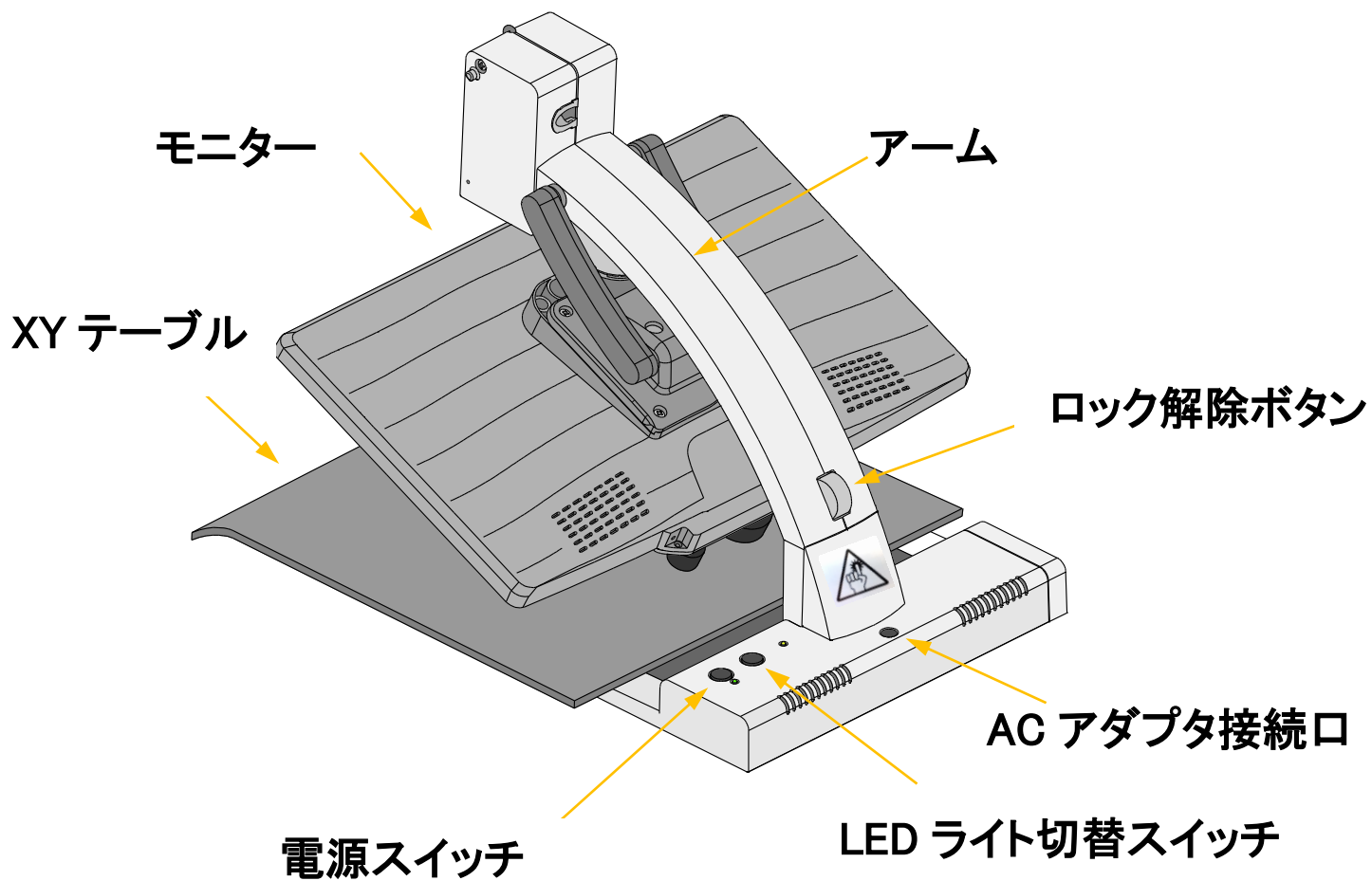
ACアダプタのプラグを本体アームの後ろの「ACアダプタ接続口」に接続し、電源コードのコンセントプラグを電源コンセントに接続します。

注: 付属の専用 AC アダプタ/ケーブル以外は、ご使用しないでください。

接続ができましたら、使用準備完了です。

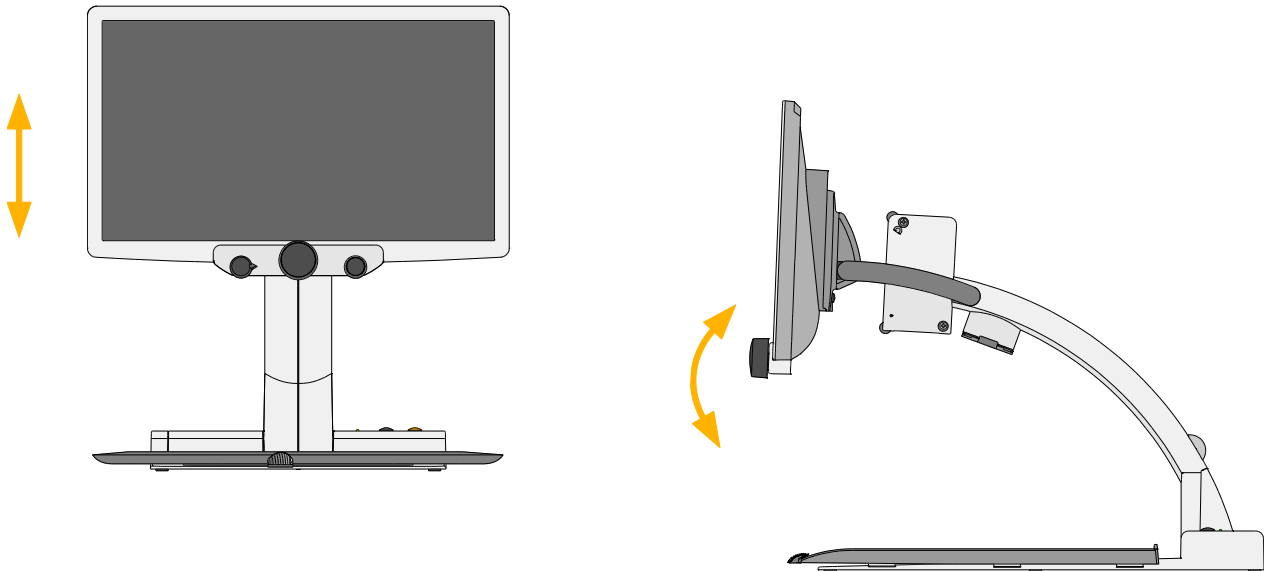


各部の名前



モニターの位置調整

- モニターを上下に動かします。
- モニターの角度を調整できます。



XY テーブル位置の調整

本体にはブレーキ付きの XY テーブルが装着されています。ブレーキの強さは、テーブルの前面にあるブレーキレバーの位置で調整できます。(表 1 を参照ください)

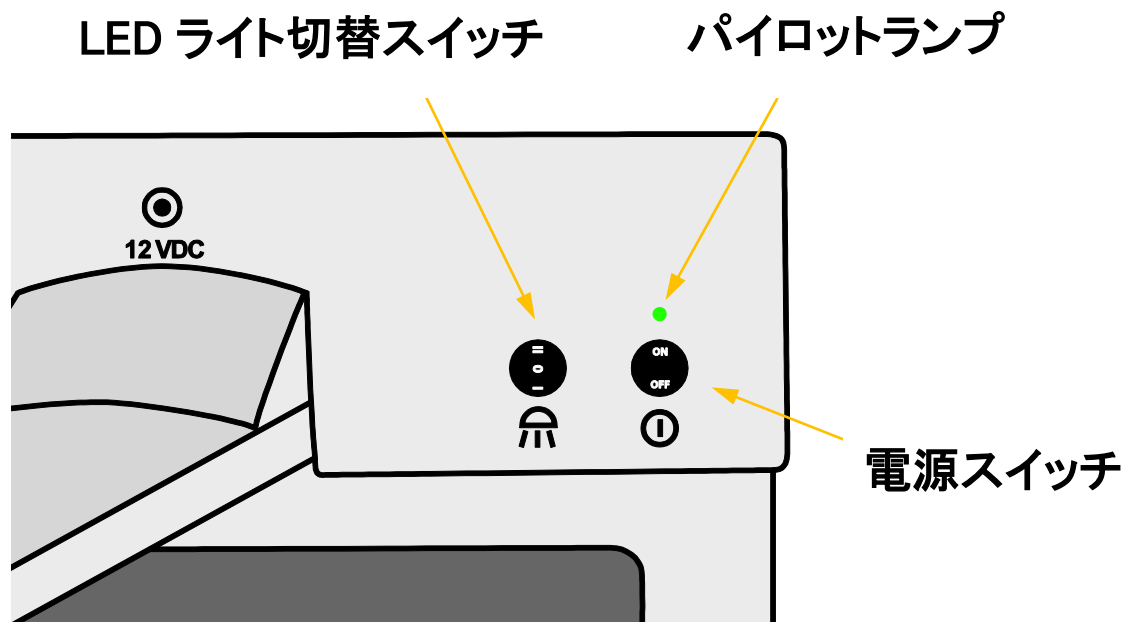
ブレーキレバーを一番左の位置（前後左右方向のブレーキがかかっていない）から右へ動かすと、左右方向のブレーキがだんだん強くなります（左右方向は固定されるが、前後方向のブレーキはかかっていない）。さらに右方向にブレーキレバーを動かすと、前後方向にもブレーキがかかってきます。ブレーキレバーが一番右の位置の時、前後方向も固定されます。

表1.

ブレーキレバーの位置	左右方向のブレーキの状態	前後方向のブレーキの状態
左端	ブレーキがかかっていない	ブレーキがかかっていない
↓	右に行くにつれてブレーキがだんだん強くなる	ブレーキがかかっていない
中央付近	ブレーキがかかって動かない	ブレーキがかかっていない
↓	ブレーキがかかって動かない	右に行くにつれてブレーキがだんだん強くなる
右端	ブレーキがかかって動かない	ブレーキがかかって動かない

5. 各部の詳細説明

本体スイッチ部(XY テーブルの後部)




電源スイッチ ON/OFF


- ON/OFF 右側にある電源スイッチで本体の電源のオン、オフができます。電源スイッチを後ろに倒すと電源が入り、スイッチの上のパイロットランプが緑に点灯します。

注: 電源スイッチを入れても LED ライトがつかない場合は、LED ライト切替スイッチが「0」の位置 になっていないかご確認してください。(LED ライト切替スイッチについては、次項の説明をご参照ください。)

※本体の電源を切り、再び本体の電源を入れたときには、各部の設定が最後に使用したときの設定になっています。

LED ライト切替スイッチ

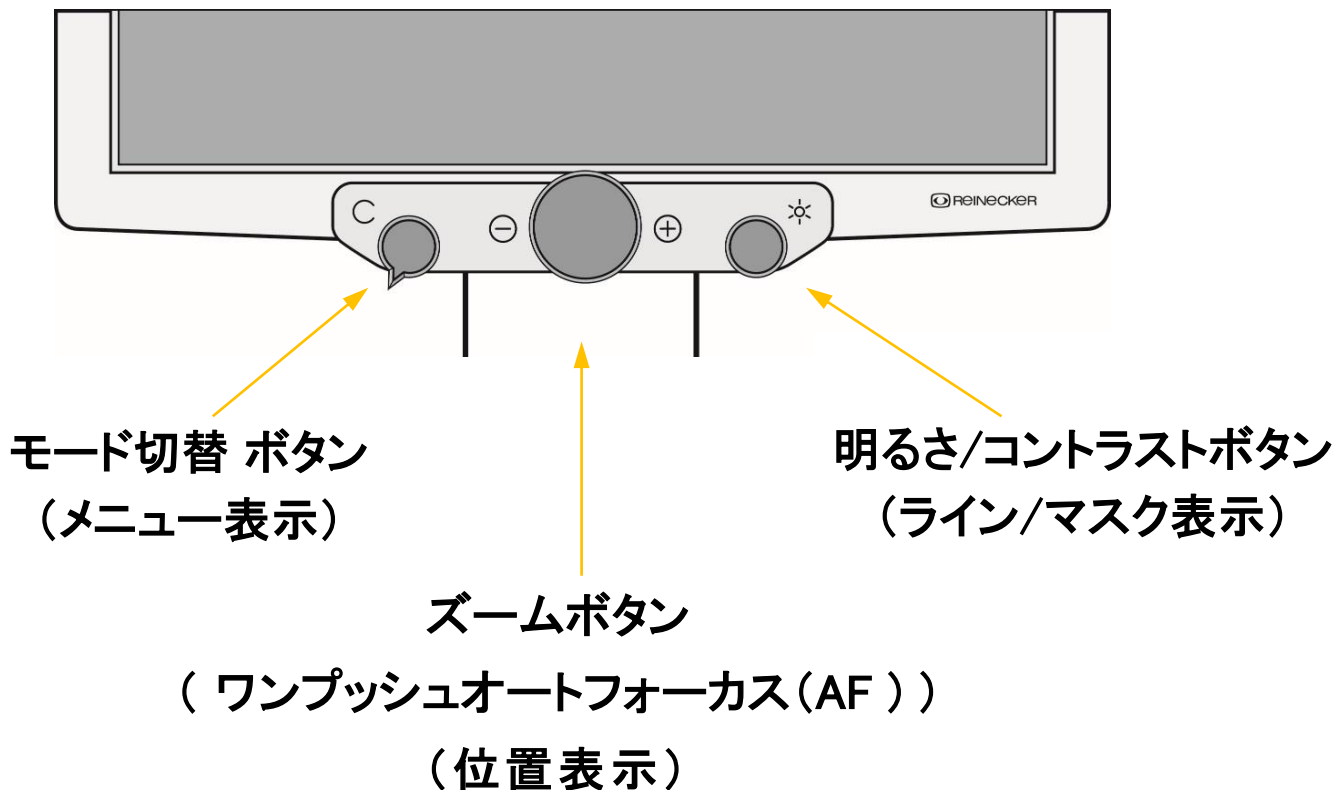
 ライトの調整 50% / OFF / 100%

 LED ライト切替スイッチを前、中央、後にすることにより、明るさの切り替えができます。

- **≡**(後)= LED ライト 明 (100%)
- **○**(中央)= LED ライト OFF
- **—**(前)= LED ライト 暗 (50%)

注: 周囲の明るさに応じて調整してください。

コントロールパネル



モード切替ボタン (ボタンを回す)

モード切替ボタンを左から右に回すと、以下のモードに変わります。
(初期設定時)



- 1: カラー
- 2: 黒 / 白 (文字色: 黒、背景色: 白)
- 3: 白 / 黒 (文字色: 白、背景色: 黒)
- 4: 黄 / 黒 (文字色: 黄、背景色: 黒)
- 5: 無効
- 6: 無効

注: 上記は、出荷時(初期設定)の設定です。メニュー表示からモードの設定が変更できます。モードを減らしたり、6種類まで増やしたりでき、色の変更もできます。

※ 一度に 6 種類までモードの設定ができます。有効にしているモード数が少ない状態でモード切替をすると、ボタンをかなり回さないと切替できません。

メニュー表示の切替(表示の ON/OFF) (ボタンを長押し)

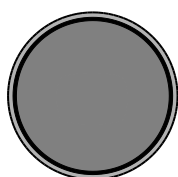
モード切替ボタンを 3~4 秒間、長押しすると、画面上にメニューが表示されます。このメニューから各項目の設定変更ができます。もう一度ボタンを押すと、メニューは消えます。

(メニュー設定については、「6. メニュー(設定項目)の詳細」をご参照ください)

ズームボタン:

ズームボタンを回すと拡大・縮小できます。

初期設定の倍率は、約 3.0 倍 ~ 約 34 倍です。



倍率はメニューから約 1.8 倍 ~ 約 110 倍まで拡張可能ですが、拡大するものによってはゆがみが生じることがあります。

又、拡張設定の低倍率では、カメラ性能の限界点まで調整している為、モニターの四隅などが正常に表示されない場合があります。

本体の電源を切り、再び本体の電源を入れたときには、最後に設定した倍率で表示されます。

注: カメラは常時オートフォーカス設定になっています(初期設定)。最大倍率にした時、XY テーブルから厚さ約 9.5cm の書物でも、鮮明な画像で表示されます。カラー以外の設定の時、より鮮明に表示されます。

メニューの設定においてズームボタンを操作された場合は、メニュー画面を終了し、通常画面に戻したときにズームボタンを少し回すと、倍率が大きく変わることがあります。

ワンプッシュオートフォーカス(AF) (ボタンを軽く押す)

常時オートフォーカス設定(初期設定)のときは、常にオートフォーカスが作動しています。

使用環境により、焦点が合いにくい場合は、ズームボタンを軽く押して焦点を合わせてください。

ワンプッシュ AF 設定のときは、ズームボタンを押したときに、オートフォーカスが作動します。

メニュー画面より設定変更できます。

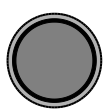
注: 光沢のあるものを映し出す場合は、低倍率時に画面の中央上部付近が見えづらくなることがあります。これは、LED ライトが反射している影響で、故障ではありません。

位置表示 (ボタンを長押し)

高倍率で読書をしているとき、カメラがフォーカスしている場所を表示します。

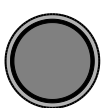
ズームボタンを約 2 秒以上、長押しすると、押している間、最小倍率の画像になり、赤い十字マークが表示され、拡大されている位置が表示されます。ボタンを離すと、元の倍率表示に戻ります。

明るさ/コントラストボタン (ボタンを回す)



明るさ/コントラストボタンを回して、カラーの時の明るさの調整と、カラー以外の時のコントラストの調整ができます。

ライン/マスク表示 (ボタンを押す)



明るさ/コントラストボタンを押すと、画面に横ライン、または横マスクが表示されます。ボタンを押すごとに、横ライン、または横マスク、縦ライン、または縦マスク、元の画像、の順に切り替わりま

す。

ボタンを左右に回すことで、ラインおよびマスクの位置調整と、ラインとマスクの切替ができます。

6. メニュー(設定項目)の詳細

メニュー表示



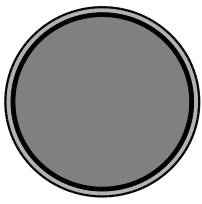
モード切替ボタンを3~4秒間長押しすると、メインメニューが表示されます。

※メインメニュー以外(拡張設定など)でメニュー表示を消された場合は、次にメニュー表示するとき、最後に消されたメニュー表示が表示されます。電源を入れなおした場合は、メインメニューが表示されます。

メインメニュー	
>カラー濃度	-25
⚠言語(Language)	日本語
オートフォーカス	常時AFモード
最小倍率	標準
最大倍率	低
周波数	50Hz
モニターの明るさ	100%
初期設定に戻す...	
拡張設定...	
終了	

⚠については、初期設定を変更しないことをお勧めします。

設定の変更



1. ズームボタンを回して、変更したいメニュー項目に移動します。
2. ズームボタンを押して、変更したいメニューを選択します。

※拡張設定内の各項目設定を変更するには、各項目のメニュー選択を数回行う必要があります。

3. ズームボタンを回して設定を変更します。
4. ズームボタンを押して、変更した設定を確定します。
5. メニュー画面を終了するには、メインメニューの「終了」を選択する（「戻る」を選択できる画面では、「戻る」を選択し、メインメニューの「終了」を選択する）か、左の位置にあるモード切替ボタンを押してください。

メニュー設定: 拡張設定

メインメニュー		
↳拡張設定:	初期設定	変更および調整範囲
モード設定	モード設定を選択して △モード 1・・・カラー △モード 2・・・黒/白 △モード 3・・・白/黒 △モード 4・・・黄/黒 モード 5・・・無効 モード 6・・・無効 ユーザーカラー	詳細については、「モードの設定」及び「ユーザーカラーの設定」を参照
△ラインカラー	ラインカラーを選択して 赤 (31) 緑 (0) 青 (0)	赤 (0 ~ 31) 緑 (0 ~ 31) 青 (0 ~ 31)
マスクの透過度	0%	25% 50%
△メッセージ表示	オン	オフ
△反射防止フィルター (工場設定用)	オフ	オン
ユーザー設定の保存	確認	
ユーザー設定に戻す	確認	
△メンテナンスモード	(操作不可)	
戻る	確認	

△については、初期設定を変更しないことをお勧めします。

メニュー設定: モードの設定

1. メインメニューを表示させ、「拡張設定」から、「モード設定」を選択します。(選択方法は「設定の変更」をご参照ください。)
2. 変更したい「モード 1」～「モード 6」を選択すると、以下の表の「モード」の選択ができます(モード1～4については初期設定を変更しないことをお勧めします)。「その他」を選択した場合のみ、文字色、背景色、色反転が選択できます。(選択可能な色につきましては、以下の表をご参照ください。)
3. ズームボタンを押して設定が終了しましたら、「戻る」を選択するか、モード切替ボタンを押してください。

メインメニュー		
↳ 拡張設定		
↳ モード設定		
↳ モード (5～6)	初期設定	変更色
モード	無効	カラー モノクロ その他
文字色	—	黒 赤 緑 青 黄 深紅 青緑 白 ユーザー 1 ユーザー 2
背景色	—	黒 赤 緑 青 黄 深紅 青緑 白 ユーザー 1 ユーザー 2
色反転	—	文字色と背景色を反転する
戻る		

メニュー設定: ユーザーカラーの設定

1. メインメニューを表示させ、「拡張設定」から「モード設定」を選択します。(選択方法は「設定の変更」をご参照ください。)
2. 「ユーザーカラー」を選択すると、「ユーザーカラー」が設定できます。「ユーザー1」の色は、「ユーザー1-赤」、「ユーザー1-緑」、「ユーザー1-青」で、「ユーザー2」の色は、「ユーザー2-赤」、「ユーザー2-緑」、「ユーザー2-青」で設定できます。
3. ズームボタンを押して設定が終了しましたら、「戻る」を選択するか、モード切替ボタンを押してください。

※ユーザーカラーの設定では、お好みの色を作り、登録することができます。

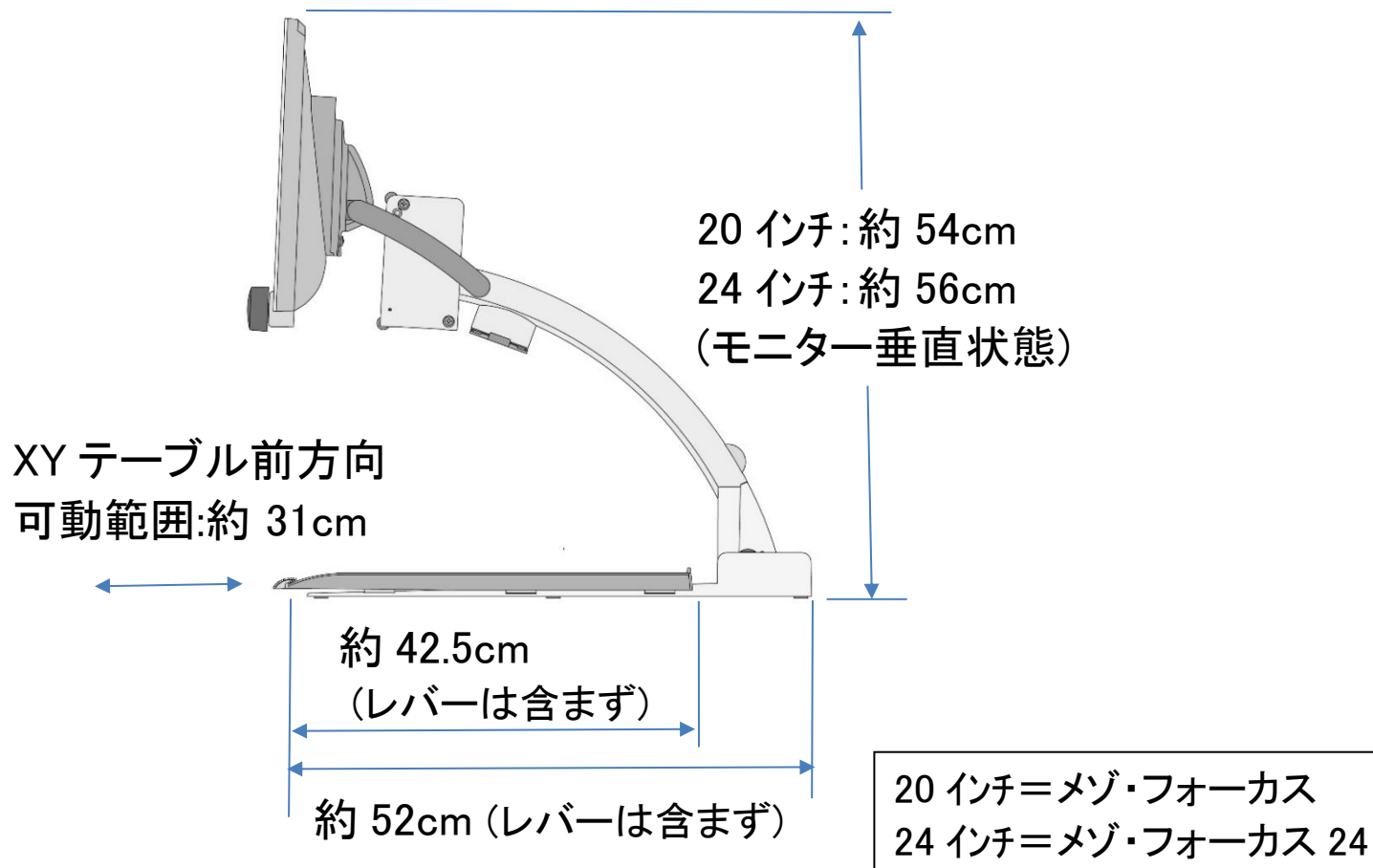
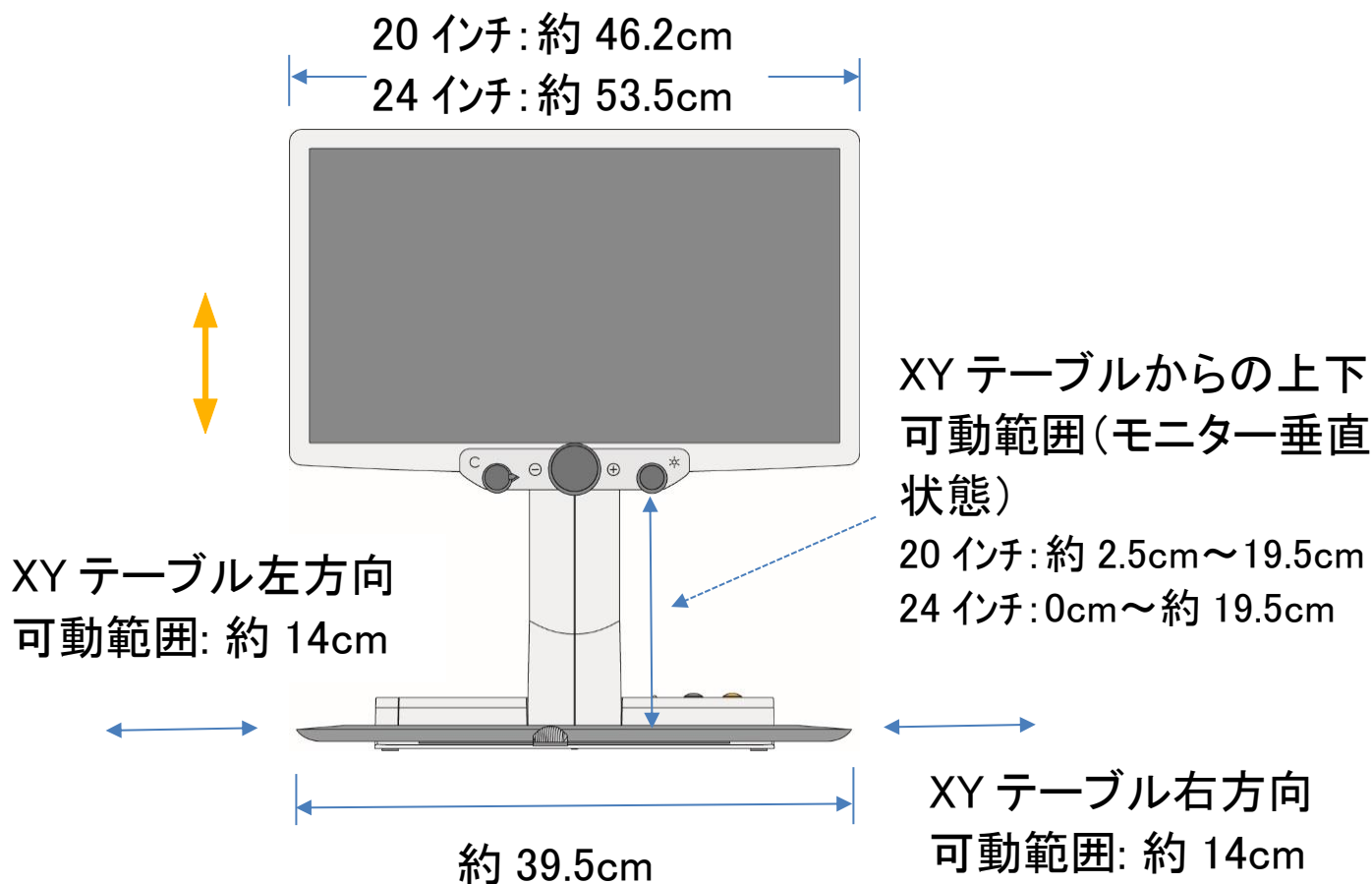
メインメニュー		
↳拡張設定		
↳モード設定		
↳ユーザーカラー	初期設定	調整範囲
ユーザー 1 - 赤	16	0 ~ 31
ユーザー 1 - 緑	16	0 ~ 31
ユーザー 1 - 青	16	0 ~ 31
ユーザー 2 - 赤	0	0 ~ 31
ユーザー 2 - 緑	0	0 ~ 31
ユーザー 2 - 青	12	0 ~ 31

7. 故障かなと思ったら

問題	確認事項
画面が暗い 画面に映像が映らない	ライト切替スイッチは ON になって いますか？ AC アダプタは本体に接続されていま すか？ 正しく設定はできていますか？（明る さ、コントラストなど）
カラーで表示されない	拡大しているものはカラーですか？ モード切替がカラーになっていますか？
パイロットランプが緑に点 灯しない	AC アダプタと本体は正しく接続されて いますか？

8. 製品仕様

- LEDモニター
(画面寸法)
 - 20 インチ: 1600 x 900 ピクセル(HD)
(約 43 x 24 cm (幅 x 高さ))
 - 24 インチ: 1920 x 1080 ピクセル(フル HD)
(約 52 x 29 cm (幅 x 高さ))
- 倍率
 - 初期設定: 約 3.0 倍 ~ 約 34 倍
 - 拡張: 約 1.8倍 ~ 約 110 倍
- カメラ
 - 画素数: 13MP / 解像度: 1920 x 1080 ピクセル
(フル HD)
- オートフォーカス
(AF)
 - 常時AFモード / ワンプッシュAFモード
- 電源
 - 100 - 240VAC 50/60 Hz
- ACアダプタ
 - 出力: 12V DC / 5A
- 消費電力
 - 最大 80 W
- 本体重量
 - 20インチ: 約 9.6 kg(ACアダプタ、電源コード含まず)
 - 24インチ: 約 10.1 kg(ACアダプタ、電源コード含まず)
- 寸法 (幅 x 高さ
x 奥行)
 - モニターが一番上の位置で垂直状態:
 - 20インチ: 約 46.2 x 54 x 52 cm
 - 24インチ: 約 53.5 x 56 x 52 cm
(XYテーブルのブレーキレバーは含まない)
- 使用環境
 - 温度: +5 °C ~ +40 °C 湿度: 30% ~ 80%



9. お客様相談室

フリーダイヤル： 0120-886-610

受付時間： 平日 9:00～12:00
13:00～17:30
(土曜・日曜・祝日は休み)

製造元： Reinecker Vision GmbH

輸入販売元： 株式会社 システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL: 0797-74-2206 FAX: 0797-73-8894

URL: <http://www.sgv.co.jp>

E-Mail: sgv-info@systemgear.com

(202004)

10. 付録

本機のご使用の練習用に、次の「据置型拡大読書器の使い方のポイント」をご使用ください。

本機の機能をご使用になり、拡大したり、コントラストを調整したりして、お読みください。

据置型拡大読書器の使い方のポイント（疲れしない読書のために）

1. 設置場所と配置

据置型拡大読書器は、ぐらぐらしない安定した机の上などに設置してください

見やすい画像が得られるように次の点に気をつけてください

- ・画面に室外の明るい光や室内の照明が映り込まないように配置やカーテンなどを工夫してください
- ・読んでいる箇所には濃い影などができないよう直射日光や強い照明が差し込まないようにしてください
- ・XY可動テーブルのある機種は、周囲にテーブルを動かす空間が取れるように配置してください
- ・見えやすい画面の向きと高さに調節して楽な姿勢で使える位置に設置してください

2. 屈折矯正/羞明(しゅうめい)対策

- ・屈折に問題のある人は、画面までの距離でよく見えるメガネやコンタクトレンズ等を使用してください
- ・画面がまぶしい人は、遮光レンズメガネやサングラス、モニターフィルターを使用してください
- ・照明がまぶしい人は、照明ライトを切り替えて、明るさを落として使用してください(照明ライト調節機能付モデル)

3. 見やすい画像の調節手順

次の手順で使用者にとって見やすい画像になるように拡大読書器を調整してください

1. 電源を入れる: 電源スイッチをONにします。
モニターの電源が連動しない機種は、モニターの電源スイッチもONにしてください
2. 拡大率の調節: ズーム調節つまみで見やすい大きさに拡大率を調節してください
3. ピントを合わせ: 最新モデルはフルタイムオートフォーカスです。
(手動ピント合わせが必要な機種/モードでは、ピント合わせの操作をします)
4. カラーモード: カラー・モノラル・反転などのモードを選択します
5. コントラスト/明るさの調節: 調節ボタンで調節してください。
* ヒント: 据置型の拡大読書器で機種によっては、文字を書くときに手や筆記具の影が邪魔になることがあります。また光沢のある印刷物や写真を見るときに照明ランプが映り込み、映像が見辛くなる場合があります。そのような場合には、照明ライトのスイッチがある機種の場合、照明ライトのスイッチを操作することで見やすい画像に調整できます。
* 最近のモデルは影や反射の問題が起こりにくい仕組みになっております

4. 上手な使い方のヒント

1. 上手に読むための操作

拡大読書器を使って読み書きするときの、2つの代表的な使い方をご紹介します。

一つの方法は、一瞬で文字がわかるぐらいまで十分に拡大して、対象物を乗せたXYテーブルをスライドさせて見たい部分を画面に映す方法です。この場合は画面の上で視点をあまり動かさずぼんやりと画面の同じ場所を見ます。拡大読書器のテーブルをスムーズにスライドさせることで、文字がその場所を通過していくと、スムーズに読み進むことができます。XYテーブルを使って行をなぞるためには、読みたい原稿をXYテーブルのガイドにきちんとあてて、テーブルと縦横平行になるように置くことが必要です。読みたいものを安定させるために、文鎮や厚めのアクリル板なども有効です。もう一つの方法は、比較的視力が良い人や写真などで広い範囲を見るときに適します。拡大率を低く押さえ、画面に映る情報を多くして、対象物を動かすことをできるだけ少なくする方法です。この場合は画面の上で視点を移動させながら見ます。一画面分を見終わると次の部分に画面を移動させます。

2. 文字を書く

拡大読書器を使って文字を書くことは、多くの方にとって多少の困難があります。

一つのアイデアとして、文字を書く場所を決めるまでは拡大読書器で確認するが、文字の形を整えるために画面を見ることをあまりしないという方法があります。

この場合、文字は、目をつぶって書くのとほぼ同じ要領で書きます。

もともと文字が書けていた人は、意外に上手く書けることが多いものです。

3. 眼の疲れの軽減

拡大読書器は画面に50cm以下の距離まで近づいて見ることになりますので、どうしても目の疲れが気になります。疲れにくい使い方は以下のとおりです。

【姿勢・距離、高さ・向き】

高さや向きや距離が不自然だと疲れます。楽な姿勢で良い画像が得られるよう拡大読書器を設置、調節しましょう。見やすい画面の高さと向きは、網膜のどの部分を使うと見えやすいか人によって異なりますので、注意が必要です。特に、低視力のため文字に顔を近づける習慣のある人は、拡大読書器の画面にも顔を近づけすぎの傾向があります。拡大読書器では文字を十分に拡大し、画面から顔を離して楽な姿勢で使ってください。また、近づきすぎると拡大された文字の一部しか視野に入らず、文字の判読が難しくなります。

【メガネ・コンタクト】

焦点のあわない目で、読書や読み書きをすると疲れます。モニターまでの距離に適した屈折矯正のためのメガネを使いましょう。

【眩しさ】

モニターがまぶしく感じる方は、お好みの遮光眼鏡やサングラス、モニター用フィルターを使いましょう。

【拡大】

文字の大きさがギリギリ見える程度では疲れます。文字が一瞬で判読できる大きさまで拡大すると読書が楽になります。

【カラーモード】

さらに文字の判読を容易するために、白黒反転モードなどの見やすいカラーモードに切り替えると楽になります。

【XYテーブル】

読み進めるときに、スピードが不規則に変化したり、蛇行したり、通り過ぎたり、見失ったりすると多くの人に乗り物酔いに似た不快な状態が起こります。原稿を縦方向と横方向を別々に、行を見失わないようにまっすぐ、安定した読みやすいスピードで動かすと、眼が疲れません。XYテーブルが、縦方向と横方向を別々に、まっすぐ、スムーズに動き、縦方向と横方向に対して別々にブレーキをかけることができる機種を選ぶと容易に操作できます。

【スピード】

1文字ずつ細部まで目を凝らして読むというスピードがでない読み方は、文章の意味を理解することが困難になり、かつ疲れます。どんどんと次ぎの文字へと読みすすめ、文の意味を理解することに集中すれば、目が疲れにくく、文章の意味を早く理解することができます。

【改行】

改行時に、今読んできた行を見失わないようにさかのぼりながら、行頭を探し隣の行へ移動させるという操作をすると、目が回るような不快な感じがします。さらに改行に数秒かかるため、読書が途切れてしまいます。行端から行頭へ移動するときは、行頭のときのテーブル位置を腕の位置などで記憶しておき、目を閉じて一瞬のうちに戻すなどの工夫をすると疲れにくくスムーズな読書が可能になります。

【休憩】

上記を実行しても、近くのある一定の距離のものを長時間見続けると、拡大読書器に限らず、ほとんどのすべての機器で、視覚障害の有無にかかわらず、目は疲労します。疲労は、目を休ませることで回復します。長時間の使用を避け、適度な休憩を取りましょう。